

連合研究科共同研究プロジェクト研究成果報告書

プロジェクト の名称	包括的な健康教育の実践的指導者のための研修カリキュラムの開発		
研 究 期 間	令和3年 4月 1日～令和6年 3月 31日	プロジェクト記 号	AA
チーム構成員の氏名・職名等・所属（配属）大学 （◎：チームリーダー）			
◎伊藤武彦・教授・岡山大学		小野 麻美子・D3・兵庫教育大学	
上村 弘子・教授・岡山大学		吉田 智子・D3・兵庫教育大学	
三村 由香里・教授・岡山大学		山本 順子・D3・兵庫教育大学	
松枝 睦美・教授・岡山大学		宮本 香代子・教授・安田女子大学	
津島 愛子・講師・岡山大学		棟方 百熊・准教授・岡山大学	
岡本 希・教授・兵庫教育大学		山内 愛・講師・岡山大学	
葛西 真記子・教授・鳴門教育大学		本岡 千草・養護教諭・尾道市立久保中学校	
大平 雅子・教授・滋賀大学		伊藤 恵子・教授・くらしき作陽大学	
脇本いづみ・D3・岡山大学		Elizabeth S. England-Kennedy ・ Assistant Professor・New Mexico State University	
大西 瞳・D3・岡山大学			
プロジェクト全体の研究経過及び研究成果			
この研究プロジェクトは、設置者等が行う合同研修や各学校の校内研修などで、指導的立場にある教職員を対象に実施される健康教育に関する研修を包括的・体系的に実施するためのカリキュラム及びその実施方法を開発することを目的とした。特にその研修内容、研修方法及び技術的な側面（例えば遠隔による双方向の参加型研修を効果的に実施する技術など）を開発することで、指導的立場の教職員の育成を図る仕組みの基盤を研究しようとした。 【各種調査等】 ・兵庫県内の国公立小学校に在籍する養護教諭を対象に、保健教育の単元別に指導上の内容や方法にかかる困難感を中心に調査をし、「性の多様性」など指導が難しいと感じる分野が存在することがわかった。また、この調査から、健康教育を実施する立場の養護教諭のスキルアップのために必要なこととして、学校内外の専門家・外部機関の活用、学級担任との連携、オンライン授業の導入、教科教育におけるニューメラシー教育の実践力向上が見出された。 ・都道府県、政令指定都市および市区町村教育委員会の健康教育担当者を対象に標本調査を実施し、設置者が実施する健康教育の指導者向けの研修の内容及び方法について必要と感ずることや、健康教育の指導者に求める力量（伸ばしたい力）を中心に回答を得た。回答者の考える優先順位が			

高いものとして「健康教育指導法」，「性に関する指導」，「がん教育」，「薬物乱用」が挙げられた。また研修の望ましい開講時期や開講方法についても設置者の考え方が判明した。この調査結果から，「オンデマンド配信による新しい知見を得る講義」と「自校の課題の分析と改善の手法，研修計画立案」に関するグループ活動を実施するオンライン演習の組み合わせが設置者の要望に即した組み合わせと考えられた。

・静岡県御殿場市及び小山町における学校専門相談医制度など教育委員会，学校・園及び地域医療機関・地域保健との連携の事例について実地に聞き取り調査を行い，学校内外の専門家・外部機関の活用の良好実践例を収集した。この事例では平常の相互連携に止まらず，教員研修について医療サイドからの指導・助言の機能もあり，地域の支援体制を基盤に教育委員会が健康教育の指導者研修の機会を確保していることがわかった。

・米国の Whole School, Whole Community, Whole Child (WSCC) モデルにもとづく健康教育活動と，その活動を支える人々の養成について，文献等をもとに調査をした。WSCC モデルは学校で実施される健康教育，身体教育と身体活動，食と栄養などの 10 のコンポーネントから構成され，それらを地域社会が包み込むように設計されている。WSCC の取り組みの事例は，地域の学校保健スタッフのバーチャル集会を組織し，普段の困りごとなどを共有する中で課題の解決を図るなど事例が集積されている。WSCC の取り組みの本質は学校と地域社会の協働にあると思われ，我が国の包括的健康教育を推進するために類推すると，我が国の学校教育の仕組みに既に備わっている学校内外の資源を組織的に活用することで，健康教育の指導者が孤立してしまわないようにできると考えられた。

・香港のヘルスプロモーションスクール (HPS) における包括的健康教育の事例について実地に調査を行った。香港の HPS 推進校では一般の教員が HPS の専門知識を得た後で，学校組織で HPS に取り組んでいた。その取り組みは政府の経済的支援や大学からの教育的支援で支えられていた。香港では学校保健の専門職配置のない中で，香港の制度や風土に合わせ，学校全体で子供たちの健康増進を支える取り組みがされていた。

【健康教育指導者研修の企画と実施】

・オンデマンド配信の講義用の動画を新たに作成し，健康教育指導者向けの研修で実際に用いた。動画のタイトルは，「教職員のための健康教育」，「感染症の予防」，「アレルギー」，「メディアコントロール」，「世界の健康教育を担う人々」，「運動器健診と保健教育」，「性教育・性の多様性」とした。感染症（特に新型コロナウイルス感染症）の予防など，実施時期により内容に関

するニーズが異なるものについては、タイムリーな改訂を行って、最新の知見が得られるようにした。

・指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者等を対象に包括的な健康教育を担える指導者のための研修をオンライン式で実施した（2022年7～11月及び2023年7～11月の期間中のオンデマンド配信及び3回のリアルタイムオンライン演習等）。この研修では、上述の健康教育の内容についてのオンデマンド聴講による研修及び校内研修の構築に関する演習を行った。研修を実施した経験をもとに、研修のモデルプログラムを作成した。

【研究成果の発表】

・学会発表

岡本 希，伊藤武彦，小学校養護教諭対象の保健授業への参画および授業の困難さに関するアンケート調査，日本学校保健学会第69回学術大会，2023年11月11日（東京都）。

岡本 希，伊藤武彦，小学校養護教諭における保健の授業づくりのニーズについて，第94回日本衛生学会学術大会，2024年3月9日（鹿児島市）。

・学術論文

吉田智子，岡本 希，心肺蘇生教育に対する養護教諭の意識—経験年数による比較—，学校保健研究 63：149－159，2021.

梶井一暁，熊谷愼之輔，小林万里子，高瀬淳，松枝睦美，三村由香里，教職員の学びの在り方から見た教職員研修の高度化・体系化・組織化，岡山大学教師教育開発センター紀要 12：271-285，2022.

吉田智子，岡本 希，運動部に所属する高校生における心肺蘇生教育の自己再トレーニングの効果—ランダム化比較試験—，学校保健研究 66：3－10，2024.

・成果を取りまとめた著書

伊藤武彦，上村弘子 編著，包括的健康教育の指導者養成の理論と実践，大学教育出版，岡山市，2024年3月，ISBN 978-4-86692-297-3.

(注) 氏名欄は適宜増減してください。

* 字数の制限はありません。記述欄が不足する場合は，複数枚になっても構いませんので適宜行数を増やしてください。